

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
小児保健実習		高橋 良子	実習	1	後期
必修・選択	卒業要件				
	資格要件	保育士資格必修	保健児童ソーシャルワーカー資格必修		
学習目標	保育者として、小児の基本的な保健知識を学び、小児のあらゆる健康を保持、増進していく実践力を身につける。また、保育者として（保育所保育指針第五章を学び）小児を取り巻く家庭、地域、学校との連携推進を率先できる力を身につける。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	小児保健実習の意義と目的	小児保健を学ぶにあたり、わが国の母子保健の歴史 小児保健を学ぶ姿勢と保育者としての心構え			
2	小児の発育と評価	母子健康手帳の見方 身長、体重、頭囲、胸囲の計測と評価			
3	小児の発達と評価	運動発達と評価 精神発達と評価			
4	小児の健康観察の実際と評価	バイタルサインの測定と評価 日々の観察とそのポイント			
5	小児の養護と保育環境（乳児期・1）	抱き方、おんぶ、授乳、おむつ交換、寝かせ方 離乳食のあたえかた			
6	小児の養護と保育環境（乳児期・2）	皮膚の清潔、ベビーマッサージ 沐浴のしかた			
7	小児の養護と保育環境（幼児期）	航空衛生と歯磨きの仕方・手洗いの方法 生活リズム・食育と食事指導			
8	症状別対応のしかた	発熱、下痢・嘔吐、腹痛、けいれんなど			
9	疾病の早期発見と慢性疾患児童の保育	各疾患の特徴と留意点 早期発見のポイント			
10	小児の応急処置（1）	発達段階と各年齢で起こる事故と対策 誤飲・異物除去の実際 保健室常備品			
11	小児の応急事故（2）	心配蘇生法 三角巾、バンダナ、ストッキング活用した応急処置、毛布による保温			
12	小児の事故と安全管理	安全チェックリスト・動植物の危険予防・園外における安全確認 事故防止対策と予知トレーニング・インシデント、アクシデントレポートの記録			
13	集団保育と感染症予防、予防接種	初期症状の把握 予防接種の受け方と留意点			
14	集団保育と健康管理	健康診断の方法 聴力、視力測定の仕方と異常の早期発見			
15	病児保育、虐待、年間保健計画	安静時の保育・虐待の早期発見 保護者教育の年間計画と小児の年間保健計画			
参 考 書	こどもの保健 理論と実践 日本小児医事出版社 保育のなかの事故 全国保育園保健師看護師連絡会発行 担当者の配布するプリント 厚労省、保育所保育指針				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	SGDでの共同学習による学習が中心である。そのため1人ひとりが参画意識をもつこと。授業中の私語、睡眠について継続的傾向が見える場合は、欠席扱いとする。未発達な乳幼児期の指導者としてふさわしい人格を形成していく努力を怠らないこと。				
評価の方法と時期	授業中の姿勢と必要に応じてレポートの提出。				